2013年3月期 第2Q決算説明会

2012年11月8日
宝ホールディングス株式会社

本日の内容

Ⅰ. 2013年3月期 第2Q業績報告と通期業績予想
（発表者：取締役 事業管理、財務・IR、経理担当　松崎 修一郎）

1. 2013年3月期 第2Q業績報告
   宝ホールディングス連結、宝酒造グループ
2. 2013年3月期 通期業績予想
   宝ホールディングス連結、宝酒造グループ

Ⅱ. 事業戦略
（発表者：代表取締役社長　柿本 敏男）

1. 宝ホールディングス連結
   2013年3月期の業績概況、TaKaRaグループの中長期戦略、
   中期経営計画2013定量目標のレビュー
2. 宝酒造グループ
   2013年3月期の業績概況、国内の事業環境と事業戦略、海外の事業環境と事業戦略
3. 宝ヘルスケア
   宝ヘルスケアの概況
4. マネジメント・メッセージ

＜参考資料＞
宝HLD連結_包括利益計算書、宝HLD連結_BS概要・CF概要、為替前提、株主還元方針

1．2013年3月期 第2Q業績報告

宝ホールディングス連結

宝酒造グループ

宝HLD連結_P/L概要：売上高～営業利益

（2013年3月期 第2Q累計）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
宝酒造グループ	84,909	▲ 87	▲ 0.1	1,209	1.4
タカラバイオグループ	9,013	371	4.3	▲ 549	▲ 5.7
宝ヘルスケア	1,135	▲ 190	▲ 14.4	▲ 114	▲ 9.1
その他	653	139	27.2	65	11.1
売上高	95,711	233	0.2	611	0.6
売上原価	59,163	580	1.0	263	0.4
売上総利益	36,548	▲ 346	▲ 0.9	348	1.0
運送費	3,528	▲ 193	▲ 5.2	128	3.8
広告宣伝費	2,088	31	1.5	▲ 111	▲ 5.1
販売促進費	15,914	362	2.3	14	0.1
研究開発費	1,489	49	3.4	▲ 110	▲ 6.9
管理費、その他	10,627	▲ 171	▲ 1.6	127	1.2
販売費及び一般管理費	33,648	79	0.2	48	0.1
宝酒造グループ	2,014	▲ 555	▲ 21.6	214	11.9
タカラバイオグループ	423	29	7.6	10	2.5
宝ヘルスケア	▲ 3	83	ー	▲ 6	ー
その他	464	16	3.7	80	21.0
営業利益	2,899	▲ 426	▲ 12.8	299	11.5

宝HLD連結_P/L概要：営業利益～経常利益 （2013年3月期 第2Q累計）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
営業利益	2,899	▲ 426	▲ 12.8	299	11.5
受取利息	86	1	1.2		
受取配当金	195	▲ 11	▲ 5.5		
受取利息・配当金	281	▲ 10	▲ 3.5	▲ 18	▲ 6.2
持分法投資利益	33	14	76.2		
その他	139	▲ 23	▲ 14.6		
その他営業外収益	172	▲ 9	▲ 5.2	22	14.8
営業外収益	453	▲ 19	▲ 4.2	3	0.8
支払利息	84	▲ 10	▲ 10.9		
社債利息	194	34	21.3		
支払利息	278	23	9.4	▲ 21	▲ 7.2
社債発行費	76	76	―		
為替差損	42	18	80.0		
その他	81	11	16.8		
その他営業外費用	200	106	114.6	50	33.5
営業外費用	478	130	37.6	28	6.4
経常利益	2,874	▲ 576	▲ 16.7	274	10.6

宝HLD連結_P/L概要：経常利益～四半期純利益 （2013年3月期 第2Q累計）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
経常利益	2,874	▲ 576	▲ 16.7	274	10.6
固定資産売却益	133	▲ 63	▲ 32.2		
投資有価証券売却益	―	▲ 2	―		
その他	―	▲ 14	―		
特別利益	133	▲ 80	▲ 37.6	133	―
投資有価証券評価損	1,019	661	184.8		
固定資産除売却損	111	▲ 54	▲ 32.7		
厚生年金基金脱退損失	260	260	―		
震災による特別損失	―	▲ 805	―		
その他	9	▲ 55	▲ 85.3		
特別損失	1,400	6	0.5	1,200	600.4
税金等調整前四半期純利益	1,607	▲ 663	▲ 29.2	▲ 792	▲ 33.0
法人税等	1,042	▲ 151	▲ 12.7	▲ 57	▲ 5.2
少数株主利益	158	41	35.5	58	58.9
四半期純利益	405	▲ 554	▲ 57.7	▲ 794	▲ 66.2

1．2013年3月期 第2Q業績報告

宝ホールディングス連結

宝酒造グループ

宝酒造G_P/L概要

（2013年3月期 第2Q累計）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
焼酎	35,817	▲ 911	▲ 2.5	217	0.6
清酒	7,903	539	7.3	103	1.3
ソフトアルコール飲料	13,463	▲ 1,748	▲ 11.5	▲ 936	▲ 6.5
その他酒類	5,404	490	10.0	404	8.1
本みりん	6,928	43	0.6	128	1.9
その他調味料	3,676	172	4.9	▲ 23	▲ 0.6
原料用アルコール等	3,223	126	4.1	623	24.0
その他	8,490	1,200	16.5	690	8.9
売上高	84,909	▲ 87	▲ 0.1	1,209	1.4
売上原価	54,287	534	1.0	1,087	2.0
売上総利益	30,622	▲ 622	▲ 2.0	122	0.4
運送費	3,187	▲ 203	▲ 6.0	▲ 12	▲ 0.4
広告宣伝費	1,934	113	6.2	▲ 65	▲ 3.3
販売促進費	15,450	367	2.4	50	0.3
研究開発費	179	▲ 2	▲ 1.5	▲ 20	▲ 10.0
管理費、その他	7,856	▲ 341	▲ 4.2	▲ 43	▲ 0.6
販売費及び一般管理費	28,608	▲ 66	▲ 0.2	▲ 91	▲ 0.3
営業利益	2,014	▲ 555	▲ 21.6	214	11.9

宝酒造G_売上高増減分析

（2013年3月期 第2Q累計）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
焼酎	35,817	▲ 911	▲ 2.5	217	0.6
清酒	7,903	539	7.3	103	1.3
ソフトアルコール飲料	13,463	▲ 1,748	▲ 11.5	▲ 936	▲ 6.5
その他酒類	5,404	490	10.0	404	8.1
本みりん	6,928	43	0.6	128	1.9
その他調味料	3,676	172	4.9	▲ 23	▲ 0.6
原料用アルコール等	3,223	126	4.1	623	24.0
その他	8,490	1,200	16.5	690	8.9
売上高	84,909	▲ 87	▲ 0.1	1,209	1.4

◆売上高の主な増減要因

（単位：百万円）

＜焼酎＞	前期比	期初計画比
混和焼酎	▲ 668	＋ 384
35度（果実酒用）	▲ 305	▲ 154

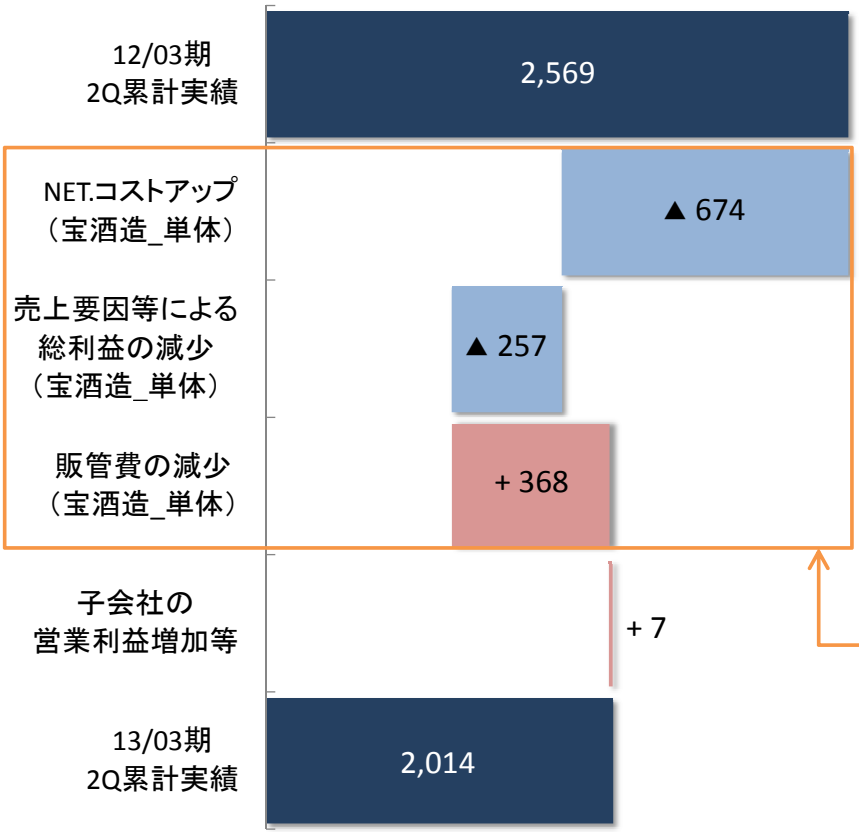
＜ソフトアルコール飲料＞	前期比	期初計画比
焼酎ハイボール	＋ 560	▲ 182
直搾り	▲ 1,520	▲ 389

＜清酒＞	前期比	期初計画比
天	＋ 257	＋ 87
豪快	＋ 109	▲ 5

＜その他＞	前期比	期初計画比
フーデックス	＋ 240	＋ 227
物流	＋ 1,017	＋ 598

宝酒造G_営業利益増減分析：前期比

（2013年3月期 第2Q累計）



＜主な要因＞

粗留アルコール、燃料、
液糖、米　など

売上高（宝酒造_単体）
前期比　▲ 1,561

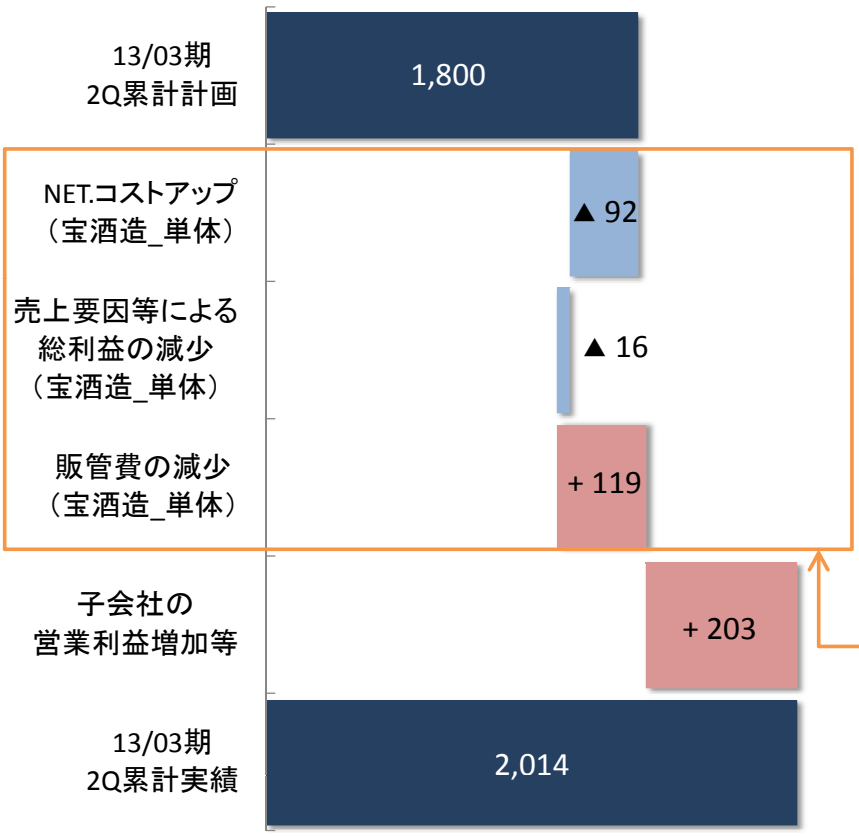
運送費の減少　＋ 354
広告宣伝費の減少　＋ 95
販売促進費の増加　▲ 393

営業利益
（宝酒造_単体）
前期比　▲ 563

※利益の増加要因を「＋」、減少要因を「▲」で表示

宝酒造G_営業利益増減分析：期初計画比

（2013年3月期 第2Q累計）



＜主な要因＞

粗留アルコールの
使用量増加　など

売上高（宝酒造_単体）
期初計画比　+ 12

運送費の減少　+ 128
広告宣伝費の減少　+ 36
販売促進費の増加　▲ 199

営業利益
（宝酒造_単体）
期初計画比　+ 10

※利益の増加要因を「＋」、減少要因を「▲」で表示

2. 2013年3月期 通期業績予想

宝ホールディングス連結

宝酒造グループ

宝HLD連結_P/L概要：売上高～営業利益 （2013年3月期 通期業績予想）

（単位：百万円）	13/03期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
宝酒造グループ	178,000	2,496	1.4	―	―
タカラバイオグループ	20,700	1,121	5.7	▲ 399	▲ 1.9
宝ヘルスケア	2,000	▲ 338	▲ 14.5	▲ 250	▲ 11.1
その他	1,500	230	18.1	50	3.4
売上高	202,200	3,509	1.8	▲ 600	▲ 0.3
売上原価	123,300	1,837	1.5	▲ 600	▲ 0.5
売上総利益	78,900	1,671	2.2	―	―
運送費	7,200	▲ 167	▲ 2.3	―	―
広告宣伝費	3,800	39	1.1	▲ 300	▲ 7.3
販売促進費	33,500	1,063	3.3	500	1.5
研究開発費	3,300	272	9.0	▲ 200	▲ 5.7
管理費、その他	21,600	227	1.1	―	―
販売費及び一般管理費	69,400	1,436	2.1	―	―
宝酒造グループ	7,000	231	3.4	―	―
タカラバイオグループ	1,600	52	3.4	0	0.0
宝ヘルスケア	▲ 30	84	―	▲ 60	―
その他	930	▲ 133	▲ 12.6	60	6.9
営業利益	9,500	235	2.5	―	―

宝HLD連結_P/L概要：営業利益～当期純利益 （2013年3月期 通期業績予想）

（単位：百万円）	13/03期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
営業利益	9,500	235	2.5	―	―
受取利息・配当金	550	10	1.9	―	―
その他営業外収益	400	▲ 135	▲ 25.2	―	―
営業外収益	950	▲ 124	▲ 11.6	―	―
支払利息	550	48	9.6	―	―
その他営業外費用	250	29	13.6	―	―
営業外費用	800	77	10.8	―	―
経常利益	9,650	32	0.3	―	―
特別利益	1,500	1,053	236.1	600	66.7
特別損失	2,100	626	42.5	500	31.3
税金等調整前当期純利益	9,050	459	5.3	100	1.1
法人税等	3,950	▲ 223	▲ 5.4	100	2.6
少数株主利益	500	78	18.5	―	―
当期純利益	4,600	604	15.1	―	―

◆株主還元について

- 2012年8月に1,565百万円（280万株）の自己株式取得を実施
- 1株当たり9円の配当と合わせて、株主還元性向は56.7%となる見込み

2. 2013年3月期 通期業績予想

宝ホールディングス連結

宝酒造グループ

宝酒造G_P/L概要

（2013年3月期 通期業績予想）

（単位：百万円）	13/03期 通期予想	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
焼酎	71,600	▲ 1,858	▲ 2.5	▲ 1,200	▲ 1.6
清酒	22,800	1,832	8.7	1,000	4.6
ソフトアルコール飲料	26,400	▲ 325	▲ 1.2	▲ 1,000	▲ 3.6
その他酒類	10,300	▲ 476	▲ 4.4	▲ 200	▲ 1.9
本みりん	14,900	181	1.2	100	0.7
その他調味料	7,900	476	6.4	▲ 100	▲ 1.3
原料用アルコール等	6,900	387	5.9	700	11.3
その他	17,200	2,277	15.3	700	4.2
売上高	178,000	2,496	1.4	―	―
売上原価	111,600	1,145	1.0	▲ 200	▲ 0.2
売上総利益	66,400	1,350	2.1	200	0.3
運送費	6,800	74	1.1	―	―
広告宣伝費	3,400	57	1.7	▲ 300	▲ 8.1
販売促進費	32,500	1,066	3.4	500	1.6
研究開発費	400	28	7.5	―	―
管理費、その他	16,300	▲ 107	▲ 0.7	―	―
販売費及び一般管理費	59,400	1,119	1.9	200	0.3
営業利益	7,000	231	3.4	―	―

宝酒造G_売上高増減分析

（2013年3月期 通期業績予想）

（単位：百万円）	13/03期 通期予想	前期比 増減	前期比 率(%)	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
焼酎	71,600	▲ 1,858	▲ 2.5	▲ 1,200	▲ 1.6
清酒	22,800	1,832	8.7	1,000	4.6
ソフトアルコール飲料	26,400	▲ 325	▲ 1.2	▲ 1,000	▲ 3.6
その他酒類	10,300	▲ 476	▲ 4.4	▲ 200	▲ 1.9
本みりん	14,900	181	1.2	100	0.7
その他調味料	7,900	476	6.4	▲ 100	▲ 1.3
原料用アルコール等	6,900	387	5.9	700	11.3
その他	17,200	2,277	15.3	700	4.2
売上高	178,000	2,496	1.4	ー	ー

◆売上高の主な増減要因

（単位：百万円）

＜焼酎＞	前期比	期初計画比
甲類焼酎	▲ 896	▲ 1,026
混和焼酎	▲ 1,342	＋ 213

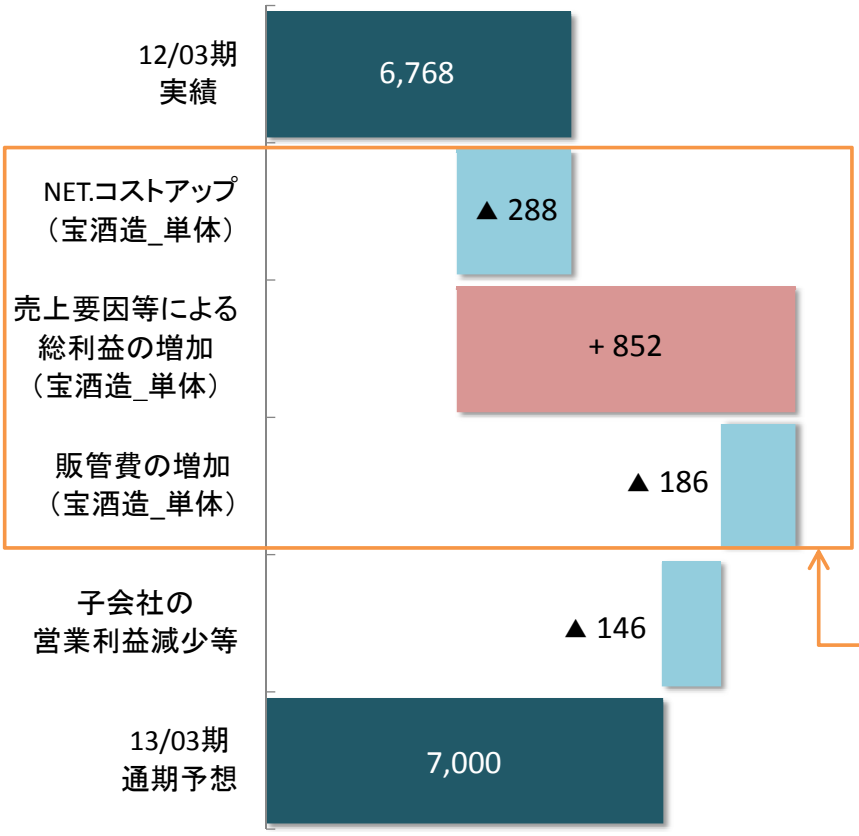
＜ソフトアルコール飲料＞	前期比	期初計画比
焼酎ハイボール	＋ 1,424	▲ 380
直搾り	▲ 1,134	▲ 333

＜清酒＞	前期比	期初計画比
天	＋ 824	＋ 383
豪快	＋ 365	＋ 80

＜その他＞	前期比	期初計画比
フーデックス	＋ 350	＋ 194
物流	＋ 1,877	＋ 688

宝酒造G_営業利益増減分析：前期比

（2013年3月期 通期業績予想）



＜主な要因＞

粗留アルコール、燃料、液糖、米　など

売上高（宝酒造_単体）前期比　＋ 283

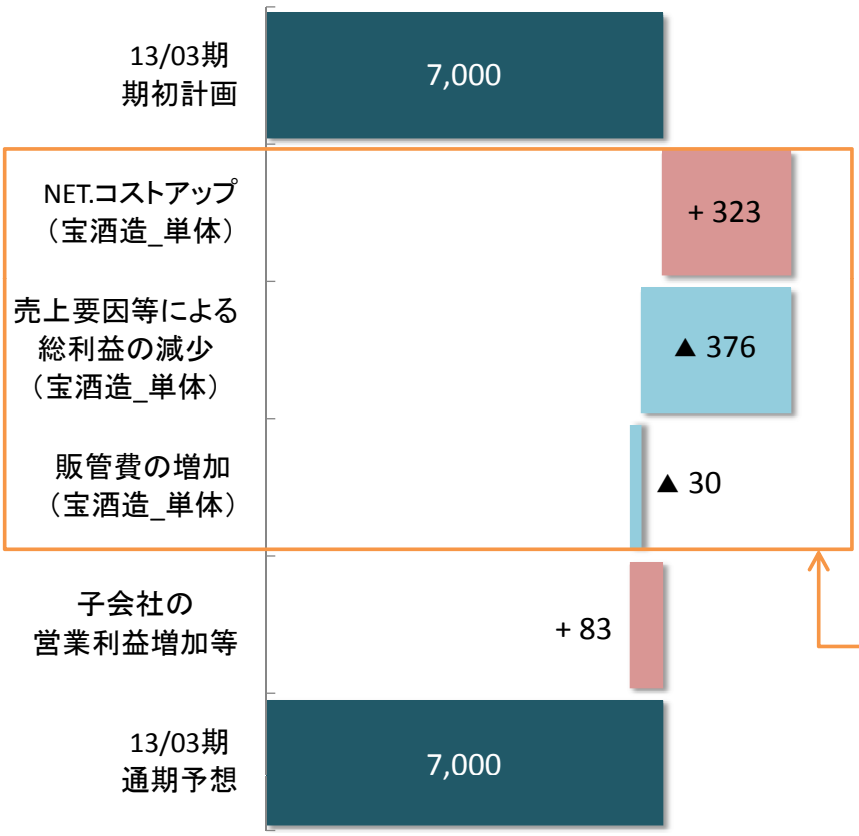
運送費の減少　＋ 197
広告宣伝費の減少　＋ 297
販売促進費の増加　▲ 895

営業利益（宝酒造_単体）前期比　＋ 377

※利益の増加要因を「＋」、減少要因を「▲」で表示

宝酒造G_営業利益増減分析：期初計画比

（2013年3月期 通期業績予想）



＜主な要因＞

粗留アルコールの
コストアップ抑制　など

売上高（宝酒造_単体）
期初計画比　▲ 1,114

運送費の減少　+ 230
広告宣伝費の減少　+ 259
販売促進費の増加　▲ 585

営業利益
（宝酒造_単体）
期初計画比　▲ 83

※利益の増加要因を「＋」、減少要因を「▲」で表示

Ⅱ．事業戦略

1．宝ホールディングス連結

2013年3月期の業績概況
TaKaRaグループの中長期戦略
中期経営計画2013定量目標のレビュー

宝HLD連結_業績概況

（2013年3月期 第2Q累計実績・通期業績予想）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)	13/03期 通期予想	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
宝酒造G	84,909	1,209	1.4	178,000	―	―
タカラバイオG	9,013	▲ 549	▲ 5.7	20,700	▲ 399	▲ 1.9
宝ヘルスケア	1,135	▲ 114	▲ 9.1	2,000	▲ 250	▲ 11.1
その他	653	65	11.1	1,500	50	3.4
売上高	95,711	611	0.6	202,200	▲ 600	▲ 0.3
宝酒造G	2,014	214	11.9	7,000	―	―
タカラバイオG	423	10	2.5	1,600	0	0.0
宝ヘルスケア	▲ 3	▲ 6	―	▲ 30	▲ 60	―
その他	464	80	21.0	930	60	6.9
営業利益	2,899	299	11.5	9,500	―	―

- 売上高は、タカラバイオグループおよび宝ヘルスケアにおいて期初計画を下回り、連結売上高も期初計画を下回るが、過去最高となる2,000億円台を達成できる見込み。
- 営業利益は、宝酒造グループおよびタカラバイオグループにおいて、順調に進捗しており、期初計画を達成できる見込み。

TaKaRaグループの中長期戦略

TaKaRaグループ・ビジョン2020（2011年度～2020年度）

経営目標　国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。

TaKaRaグループ中期経営計画2013（2011.04~2014.03）

基本方針　「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現に向けて、国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する。

定量目標　2014年3月期　連結売上高 2,000億円以上、連結営業利益 100億円以上
海外売上高比率 10%以上、成長事業＋育成事業売上高比率 25%以上

事業の位置付けと事業方針

基盤事業	● 国内酒類事業	中核事業として収益力の強化に取り組み、グループの成長を支える。
成長事業	● 海外酒類事業、日本食材卸事業 ● 調味料・酒精事業 ● 遺伝子工学研究事業	成長が見込まれる市場で積極的に事業拡大を図り、グループ全体の成長を牽引する。
育成事業	● 健康食品事業 ● 遺伝子医療事業	成長が見込まれる市場で次期の成長事業化を目指し、事業基盤の確立に取り組む。

風土・人財の育成　｜　グループ経営基盤の強化　｜　社会・環境行動の推進

財務方針　健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、積極的な株主還元を実施し、ROE（自己資本利益率）の向上を目指す。

中期経営計画2013定量目標のレビュー①

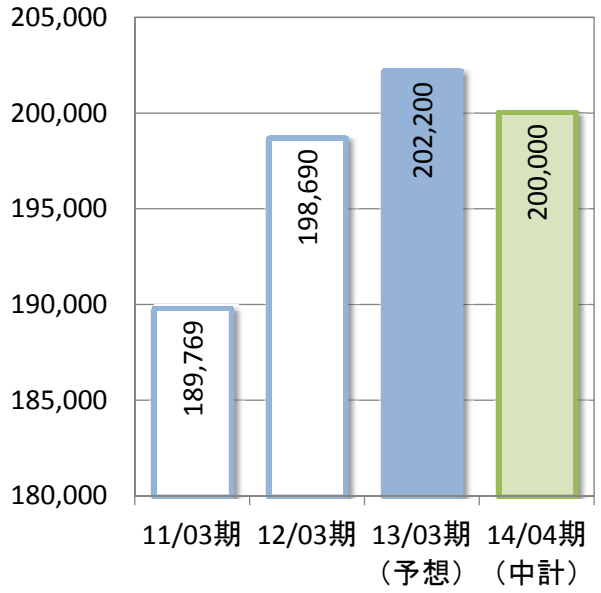
TaKaRaグループ中期経営計画2013 （2011.04~2014.03）

定量目標

2014年3月期　連結売上高 2,000億円以上、連結営業利益 100億円以上
海外売上高比率 10%以上、成長事業＋育成事業売上高比率 25%以上

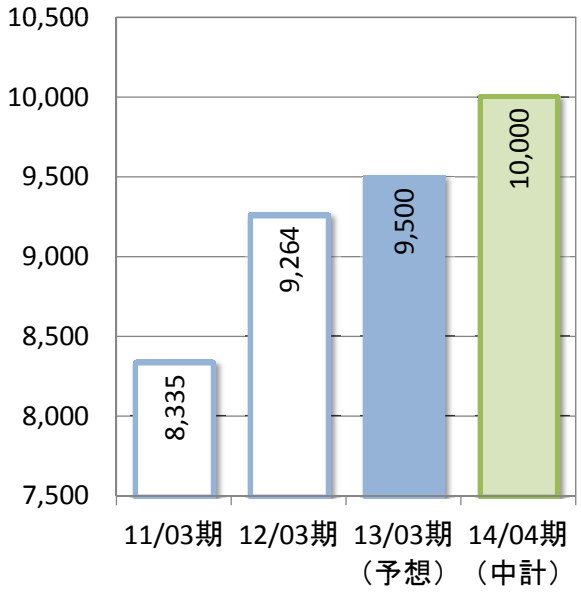
◆売上高 （単位：百万円）

➢ 1年前倒しでの達成を見込む



◆営業利益 （単位：百万円）

➢ 最終年度での達成に向けて増益を見込む



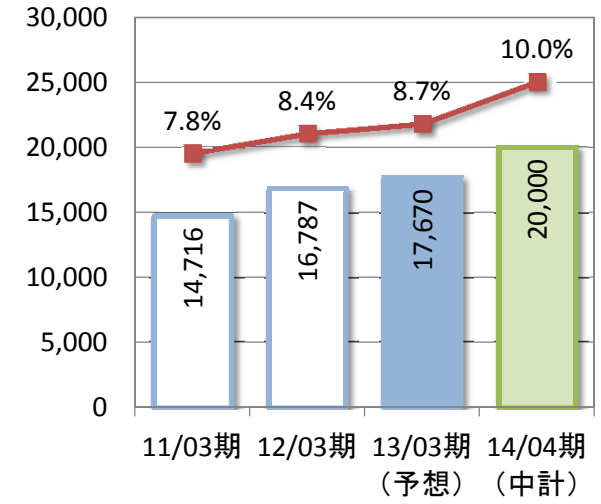
中期経営計画2013定量目標のレビュー②

TaKaRaグループ中期経営計画2013 （2011.04~2014.03）

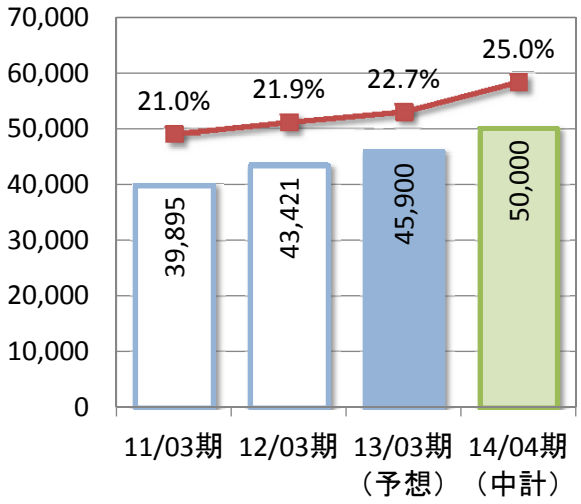
定量目標

2014年3月期　連結売上高 2,000億円以上、連結営業利益 100億円以上
海外売上高比率 10%以上、成長事業＋育成事業売上高比率 25%以上

◆海外売上高比率 （単位：百万円）



◆成長事業＋育成事業売上高比率（単位：百万円）



▽中計策定時の為替レートで算出した場合の2013年3月期予想値

- 海外売上高　183億円
- 海外売上高比率　9.0%
- 成長事業＋育成事業売上高　466億円
- 成長事業＋育成事業売上高比率　23.0%

2. 宝酒造グループ

2013年3月期の業績概況

国内の事業環境と事業戦略

海外の事業環境と事業戦略

宝酒造G_業績概況

（2013年3月期 第2Q累計実績・通期業績予想）

（単位：百万円）	13/03期 2Q累計実績	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)	13/03期 通期予想	期初計画比 増減	期初計画比 率(%)
焼酎	35,817	217	0.6	71,600	▲ 1,200	▲ 1.6
清酒	7,903	103	1.3	22,800	1,000	4.6
ソフトアルコール飲料	13,463	▲ 936	▲ 6.5	26,400	▲ 1,000	▲ 3.6
その他酒類	5,404	404	8.1	10,300	▲ 200	▲ 1.9
本みりん	6,928	128	1.9	14,900	100	0.7
その他調味料	3,676	▲ 23	▲ 0.6	7,900	▲ 100	▲ 1.3
原料用アルコール等	3,223	623	24.0	6,900	700	11.3
その他	8,490	690	8.9	17,200	700	4.2
売上高	84,909	1,209	1.4	178,000	―	―
営業利益	2,014	214	11.9	7,000	―	―

- 2Q累計実績
  - 売上高は、原料用アルコールや、その他の部門（日本食材卸事業、物流など）を中心に期初計画を上回った。
  - その結果、営業利益も期初計画を上回った。
- 通期予想
  - デフレ下の厳しい営業環境を考慮し、期初計画を据え置く。

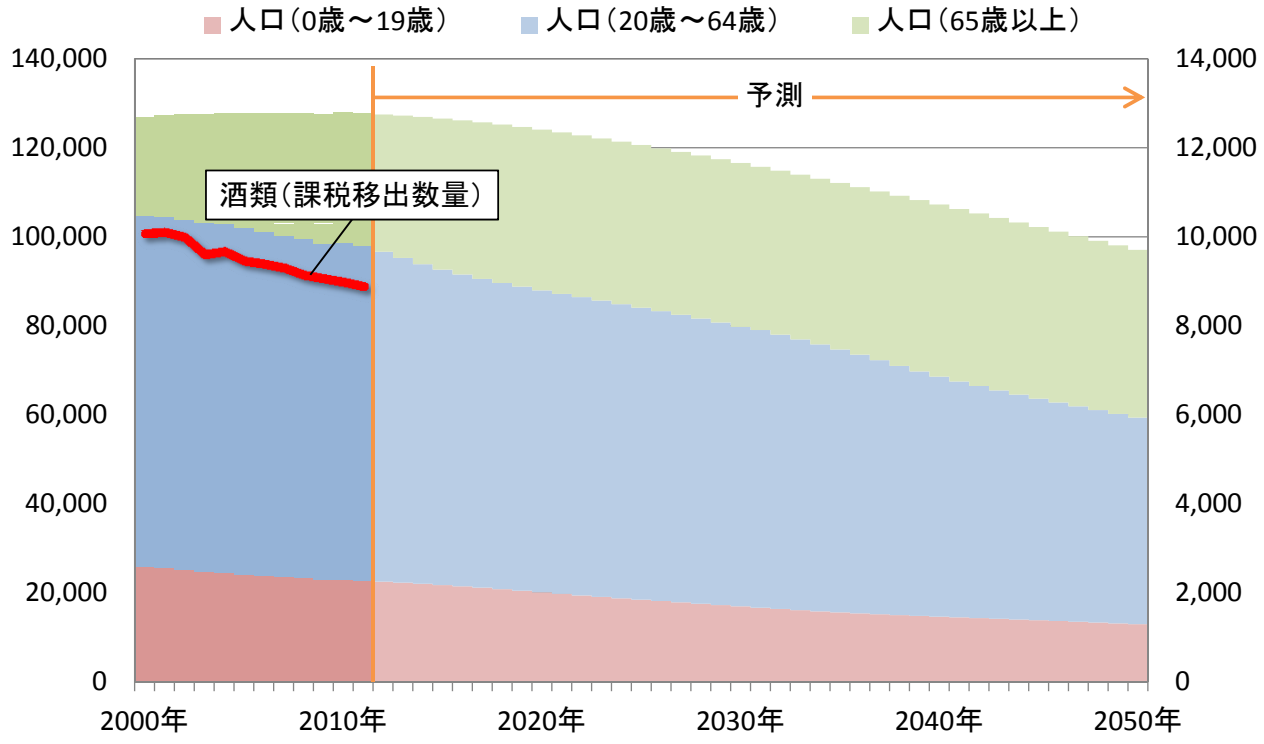
2. 宝酒造グループ

2013年3月期の業績概況
国内の事業環境と事業戦略
海外の事業環境と事業戦略

国内酒類市場の動向①

◆日本の人口と酒類市場規模の推移

【単位】人口：千人（左軸）、酒類：千ｷﾛﾘｯﾄﾙ（右軸）

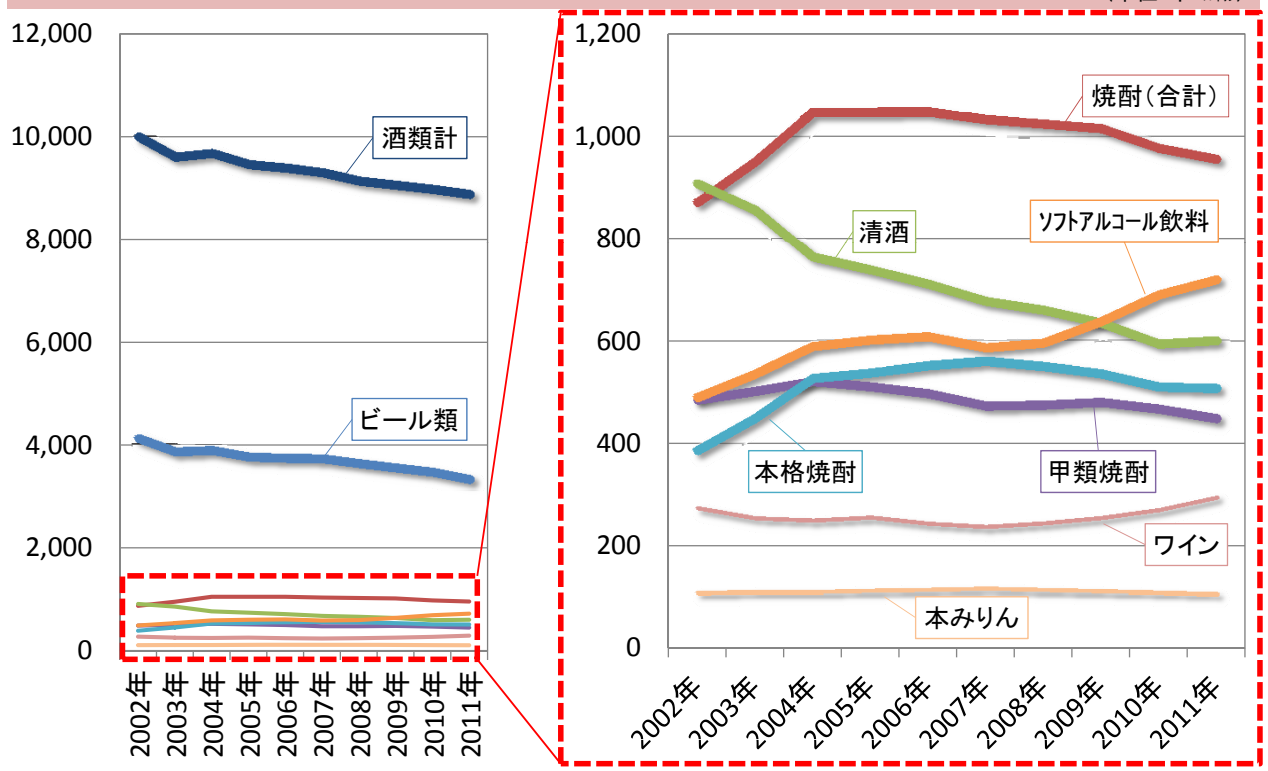


＜データ出所＞ 人口：総務省統計局、国立社会保障・人口問題研究所
酒類（課税移出数量）：国税庁

国内酒類市場の動向②

◆酒類別の市場規模推移

（単位：千キロリットル）



＜データ出所＞ 酒類計・焼酎・清酒・ワイン・本みりん：国税庁（課税移出数量）
ビール類（ビール・発泡酒・新分野）・ソフトアルコール飲料：醸造産業新聞社

宝酒造G_事業戦略（国内）

宝酒造グループ中期経営計画2013 （2011.04~2014.03）

基本方針	国内は、酒類事業の収益力強化およびB to B事業の拡大、 海外は、日本食材卸販売網の構築に取り組む。

◆国内酒類事業

新商品の開発	ブランドの育成	収益力の強化
差異化品質を持った オリジナリティある 新商品の開発	こだわりゾーンと スタンダードゾーンの双方で 多数の強いブランドを育成	利益マネジメントの強化と 業務効率化の推進

安定的なキャッシュフローを生み出し、グループの成長を支える

◆調味料・酒精事業

加工業務用調味料事業の拡大	酒精事業の拡大
技術力に基づく商品開発と提案営業で 顧客の課題解決に貢献	新たなスキームによる事業成長と 競争優位性の確立による収益力強化

組織統合効果の追求

顧客対応力を強化し、BtoBビジネスを事業の柱として中長期的に拡大

国内酒類事業（焼酎、清酒）

◆焼酎

- 甲類焼酎
  - 宝焼酎発売100周年を機に「極上＜宝焼酎＞」を中心に販売促進活動を強化
- 本格焼酎
  - 「黒よかいち」にパウチパックの商品を新発売
  - 全量芋焼酎「一刻者（いっこもん）」、本格麦焼酎「知心剣（しらしんけん）」のブランド育成を継続（新聞広告、テレビCM等）

本格焼酎「黒よかいち」
900mlエコパウチ
（9月4日発売）

▽販売数量の市場比較（前年同期比）

- 市場　＜甲類＞　▲3.4%　（4-9月）
  　　＜乙類＞　▲1.3%　（4-9月）
- 宝酒造（単体）　＜甲類＞　▲3.4%　（4-9月）
  　　＜乙類＞　▲0.8%　（4-9月）

＜市場データ出所＞　日本蒸留酒酒造組合
日本酒造組合中央会

◆清酒

- 松竹梅白壁蔵「澪（みお）」スパークリング清酒
  - 飲食店でのグラス売りやギフト、結婚式場でのニーズに応える750mlの商品を新発売（従来は300mlのみ）
- エコパウチ
  - 「天」「まろやか冷酒」に加え、上撰松竹梅にもパウチパックの商品を新発売（900ml・500ml）

松竹梅白壁蔵
「澪」750ml
（9月25日発売）

上撰松竹梅
900mlエコパウチ
（11月13日発売）

▽販売数量の市場比較（前年同期比）

- 市場　▲4.7%　（4-9月）
- 宝酒造（単体）　＋5.7%　（4-9月）

＜市場データ出所＞　日本酒造組合中央会

国内酒類事業（ソフトアルコール飲料、調味料）

◆ソフトアルコール飲料

- TaKaRa「焼酎ハイボール」
  - テレビCMや限定生産商品の発売などによりブランド育成を継続

「焼酎ハイボール」
のテレビCM

- タカラcanチューハイ「直搾り」
  - 女性をターゲットにしたデザインリニューアルを実施

9月25日
リニューアル

▽販売数量の市場比較（前年同期比）

- 市場　＋1.0%　（4-9月）
- 宝酒造（単体）　▲11.9%　（4-9月）

＜市場データ出所＞　日本洋酒酒造組合
発泡酒の税制を考える会

◆調味料

- 家庭用調味料
  - 本みりんで初めてパウチパックの商品を発売
  - 「料理のための清酒」エコパウチと合わせてパウチパックを提案

タカラ本みりん「醇良」
500mlエコパウチ
（8月28日発売）

「料理のための清酒」
500mlエコパウチ
（3月15日発売）

▽販売数量の市場比較（前年同期比）
～本みりん～

- 市場　＋2.4%　（4-9月）
- 宝酒造（単体）　＋0.6%　（4-9月）

＜市場データ出所＞　全国味淋協会

調味料・酒精事業

◆調味料（加工業務用調味料）事業

こだわりと高付加価値訴求に向かうユーザーと調理の簡略化に向かうユーザーの双方のニーズに応え売上拡大を図る

- 新商品の開発
  - 「味わい付与機能」、「マスキング機能」、「物性改良機能」、「香り付与機能」などの機能強化に特化した差異化商品を開発
- 酒類調味料
  - 本みりんと料理清酒を合わせて提案

- 食品調味料
  - 発酵調味料でユーザーのコストダウンニーズに応え、だし調味料でユーザーの求める味を実現

◆酒精（原料用アルコール等）事業

原材料（粗留アルコール）価格の高止まりに対応できるよう収益力を強化する

- 工業用アルコール
  - 付加価値の高い99%アルコールの販売を開始
    （従来は95%アルコールのみを販売）

◆ 99%アルコールの主な用途

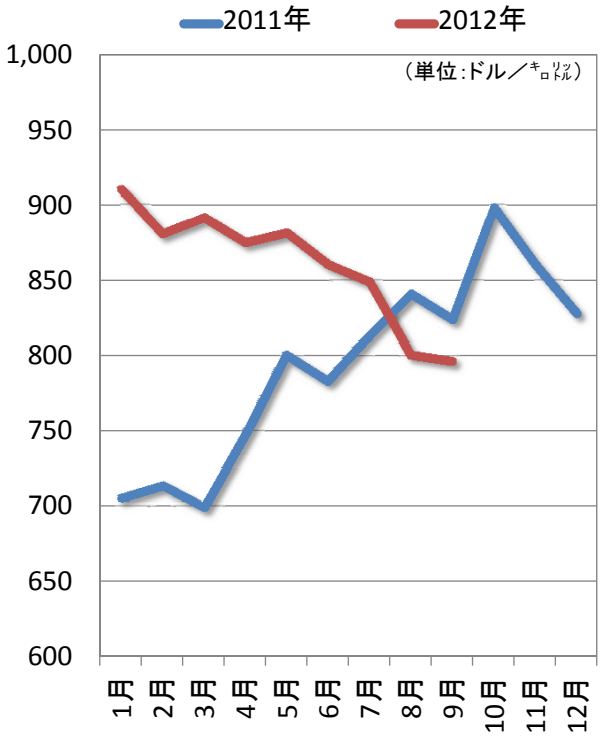
医薬品、化学製品、化粧品 etc.

◆ 95%アルコールの主な用途

アルコール製剤、食品・調味料、香料 etc.

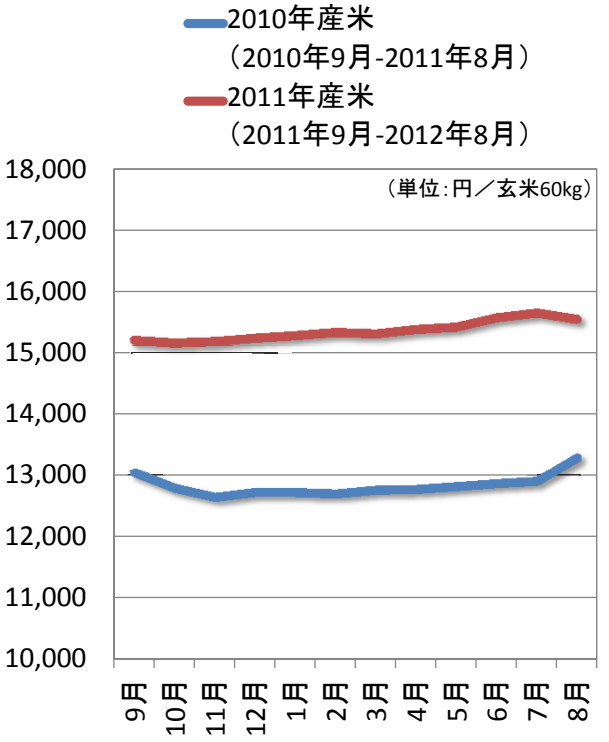
原材料価格の動向

◆粗留アルコール輸入（CIF）価格の推移



＜データ出所＞ 財務省貿易統計

◆米価格の推移



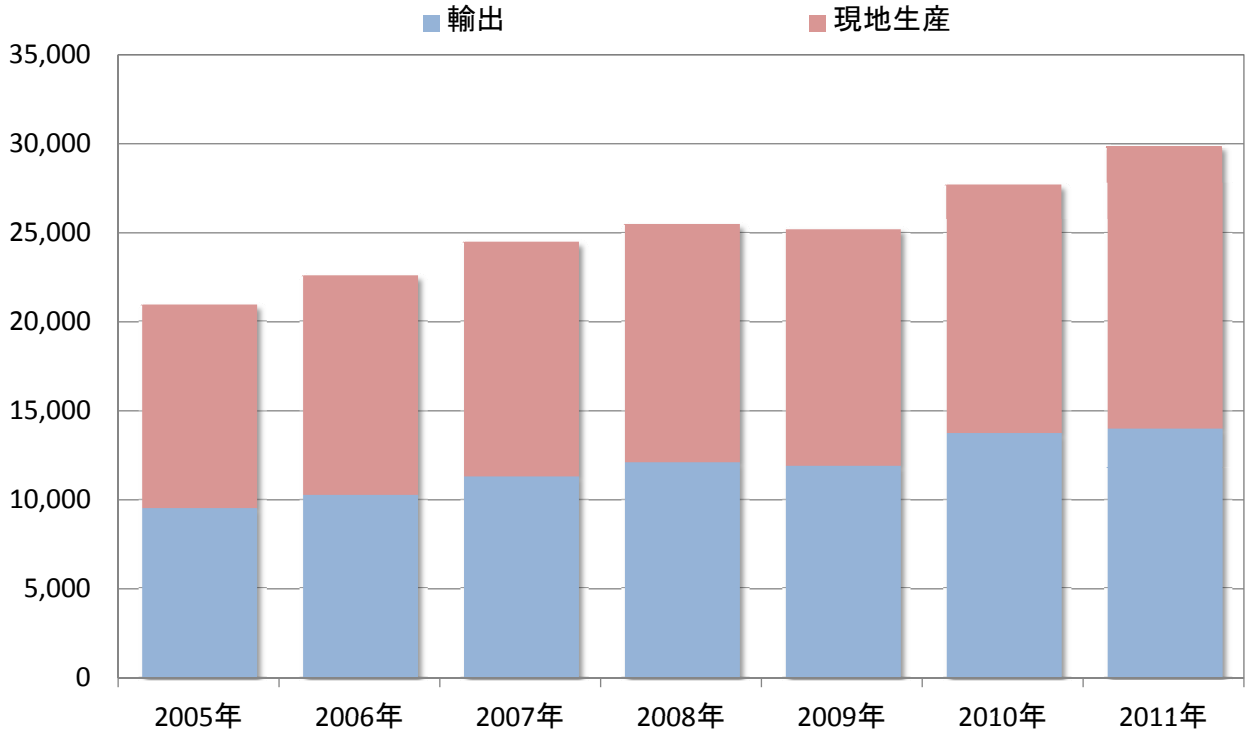
＜データ出所＞ 農林水産省（米の相対取引価格）

2. 宝酒造グループ

2013年3月期の業績概況
国内の事業環境と事業戦略
海外の事業環境と事業戦略

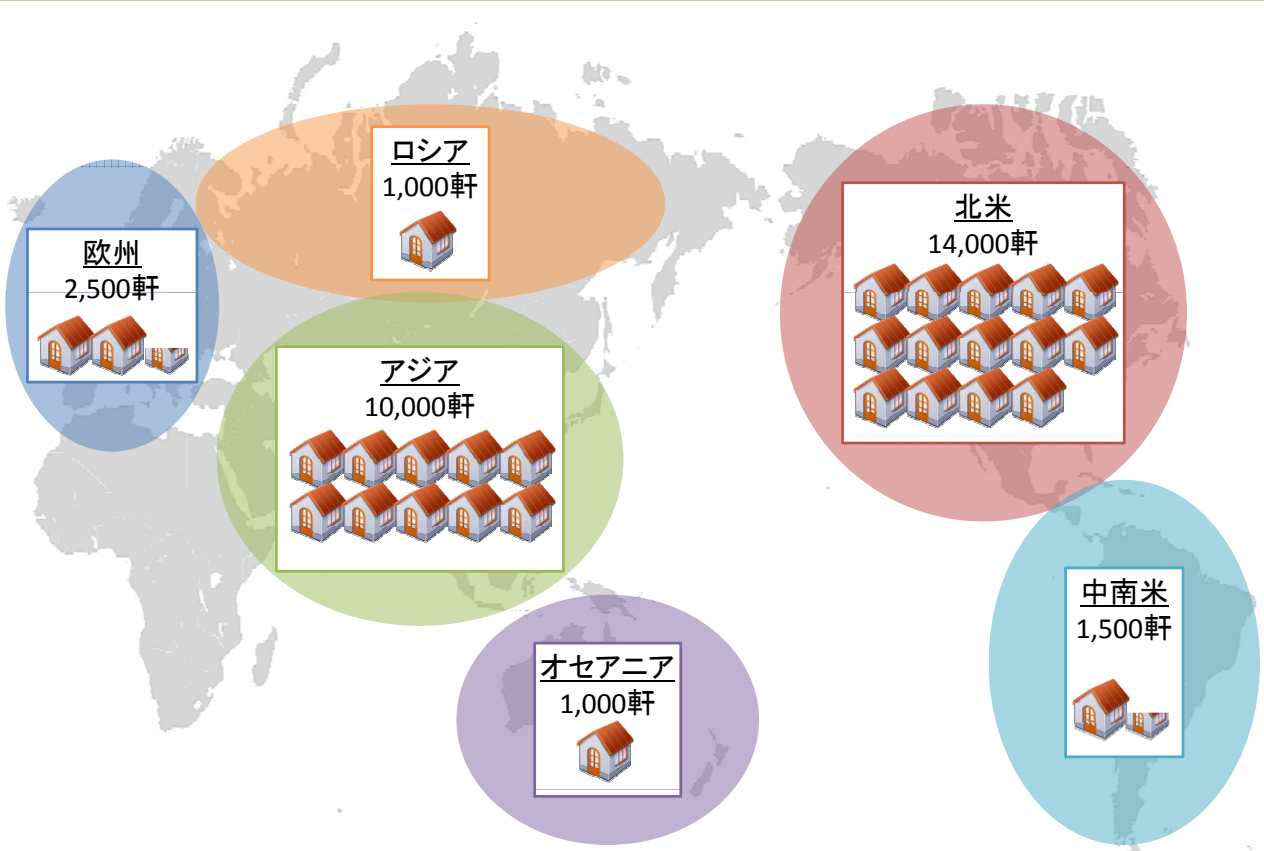
世界の清酒市場の動向

◆世界の清酒市場規模の推移 （単位：ｷﾛﾘｯﾄﾙ）



＜データ出所＞ 輸出：財務省貿易統計
現地生産：醸造産業新聞社（清酒大手9社の現地生産量合計）

世界の日本食レストラン軒数



＜データ出所＞ 農林水産省（2011年）

宝酒造G_事業戦略（海外）

宝酒造グループ中期経営計画2013 （2011.04~2014.03）

基本方針	国内は、酒類事業の収益力強化およびB to B事業の拡大、 海外は、日本食材卸販売網の構築に取り組む。

◆海外事業

海外酒類事業の拡大	日本食材卸販売網の構築
日本食レストラン市場におけるシェアアップと 量販チャネルにおける間口拡大	海外における 販売網を構築・拡大

海外清酒市場で
圧倒的シェアNo.1への
基盤構築

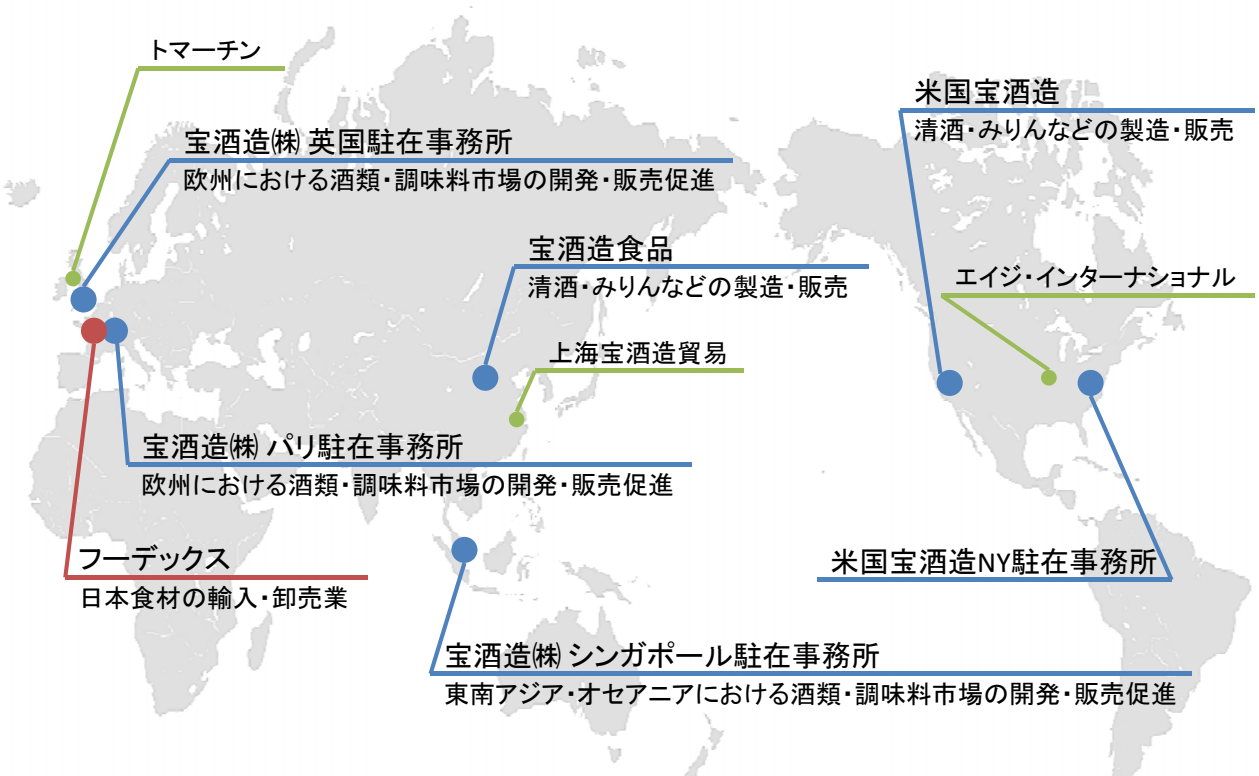
- 日本食レストラン市場での販売拡大とシェアアップ
- 量販チャネルの取扱間口拡大
- 高品質な清酒を世界に向けて安定供給

販売網を構築・拡大し
欧州市場における
事業拡大を加速

- フーデックス社による欧州流通網の拡大
- 欧州の日本食レストランへのアプローチ強化

海外酒類・日本食材卸の両事業を通じて
日本食文化を世界に広め、海外事業の拡大を図る

宝酒造G_海外拠点



- 海外酒類事業の拠点（清酒・みりん等）
- 日本食材卸事業の拠点
- その他の拠点

＊トマーチン：スコッチウイスキーの製造・販売
＊エイジ・インターナショナル：バーボンウイスキー「ブラントン」の販売
＊上海宝酒造貿易：宝酒造G製品の輸入販売

米国宝酒造（海外酒類事業：米国）

◆米国宝酒造_業績概要

（単位：千USドル）

	13/03期 2Q累計実績	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	13,302	787	6.3	10	0.1
営業利益	1,015	121	13.6	826	438.7
	13/03期 通期予想	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	26,760	1,276	5.0	▲ 524	▲ 1.9
営業利益	2,123	980	85.8	665	45.7

- 2Q累計実績
  - 売上高は、清酒を中心に前期比増収となり、期初計画並の進捗。
  - 利益面では、コストダウンおよび販管費の削減により、営業利益は前期比増益となり、期初計画を上回った。
- 通期予想
  - 売上高は、清酒を中心に前期比増収を見込むが、加工用調味料を中心に期初計画を下回る見込み。
  - 利益面では、コストダウンおよび販管費の削減により、営業利益は前期比増益となり、期初計画を上回る見込み。

宝酒造食品（海外酒類事業：中国）

◆宝酒造食品_業績概要　（単位：千元）

	13/03期 2Q累計実績	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	**26,888**	6,187	29.9	3,881	16.9
営業利益	**2,770**	2,249	431.7	2,151	347.3
	13/03期 通期予想	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	**52,746**	400	0.8	3,524	7.2
営業利益	**3,274**	1,023	45.4	956	41.3

- 2Q累計実績
  - 飲食店の新規開拓等が順調に進み、売上高は、清酒・焼酎を中心に前期比増収となり、期初計画を上回った。
  - 売上高の順調な伸びに伴い、営業利益は、前期比増益となり、期初計画を上回った。
- 通期予想
  - 8月以降の反日感情の高まりの影響を受け、足元の売上高は減少しており、期初計画を上回るものの、前期並みの売上高となる見込み。
  - 利益面では、販管費（運送費・管理費）の増加を見込むが、営業利益は前期比増益となり、期初計画を上回る見込み。

フーデックス（日本食材卸事業：欧州）

◆フーデックス_業績概要　（単位：千ユーロ）

	13/03期 2Q累計実績	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	**22,359**	4,333	24.0	1,489	7.1
営業利益	**1,987**	▲ 348	▲ 14.9	▲ 495	▲ 20.0
	13/03期 通期予想	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
売上高	**45,188**	7,263	19.2	1,488	3.4
営業利益	**4,761**	2	0.1	▲ 650	▲ 12.0

- 2Q累計実績
  - 売上高は、新規取引先の開拓などが順調に進み、前期比増収となり、期初計画を上回った。
  - 利益面では、ユーロ安による調達価格の上昇、販管費の増加などにより、営業利益は前期比減益となり、期初計画も下回った。
- 通期予想
  - 売上高は、増収基調を維持し、前期比増収となり、期初計画を上回る見込み。
  - 利益面では、調達価格の上昇による売上総利益率の低下に加え、管理費（システム構築費）の前倒し発生などにより、営業利益は前期並となり、期初計画を下回る見込み。

フーデックスの拠点

3. 宝ヘルスケア

宝ヘルスケアの概況

宝ヘルスケアの概況

◆宝ヘルスケア_業績概要

（単位：百万円）

	13/03期 2Q累計実績	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
ヘルスケア事業	608	27	4.8	▲ 41	▲ 6.3
その他	526	▲ 218	▲ 29.3	▲ 73	▲ 12.2
売上高	1,135	▲ 190	▲ 14.4	▲ 114	▲ 9.1
営業損失	▲ 3	83	ー	▲ 6	ー

	13/03期 通期予想	前期比		期初計画比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
ヘルスケア事業	1,250	29	2.4	▲ 50	▲ 3.8
その他	750	▲ 367	▲ 32.9	▲ 200	▲ 21.1
売上高	2,000	▲ 338	▲ 14.5	▲ 250	▲ 11.1
営業損失	▲ 30	84	ー	▲ 60	ー

- 2Q累計実績
  - ヘルスケア（健康食品）事業は前期比増収となり営業損失は改善したが、主力のガゴメ昆布「フコイダン」関連製品が伸び悩み、期初計画を下回った。
- 通期予想
  - 期初計画では、黒字化を見込んでいたが、▲30百万円の営業損失となる見込み。

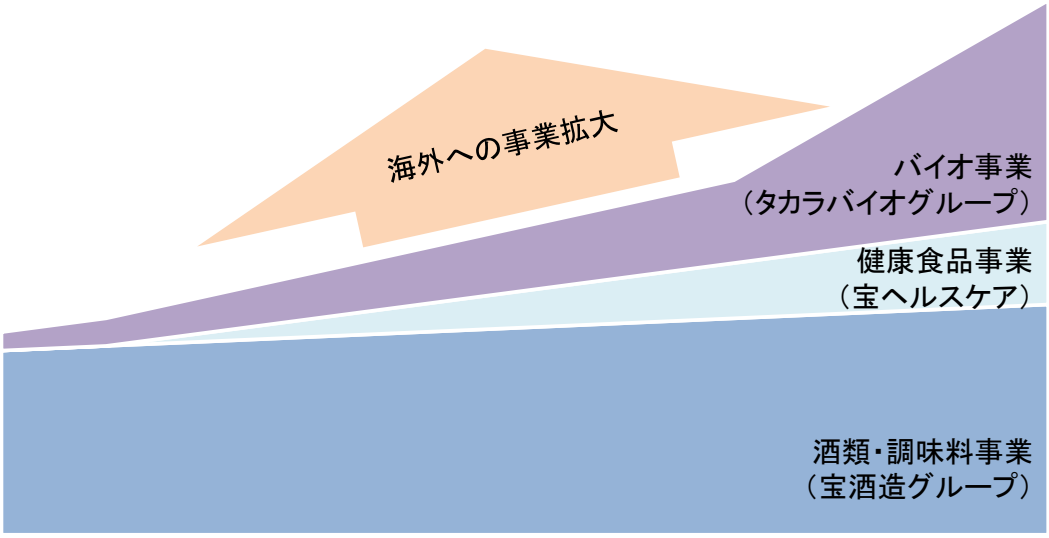
4. マネジメント・メッセージ

マネジメント・メッセージ

TaKaRaグループ・ビジョン2020 （2011年度~2020年度）

経営目標	国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、 環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。

国内外において環境変化に強いバランスのとれた事業ポートフォリオへ



安定収益基盤と成長事業を有する独自の強固な事業ポートフォリオ

経営基盤・経営方針の継承と、その推進の一層の強化

マネジメント・メッセージ

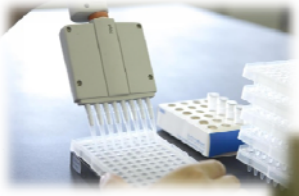
独自の技術で差異化された
お客様が望まれる安全で高品質の
商品・サービスを開発・育成

宝酒造グループ

- 国内で安定的な収益を確保
- 海外での事業拡大

タカラバイオグループ

- 遺伝子工学研究事業での利益成長
- 遺伝子治療の商業化を実現



宝ヘルスケア

- 健康食品事業の成長を加速

＜参考資料＞

宝HLD連結_包括利益計算書
宝HLD連結_BS概要・CF概要
為替前提（子会社P/L換算レート）
株主還元方針

宝HLD連結_包括利益計算書

（2013年3月期 第2Q累計）

（単位：百万円）	11/03期 2Q累計実績	12/03期 2Q累計実績	増減
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	564	▲ 512
その他の包括利益合計	▲ 428	▲ 323	105
その他有価証券評価差額金	▲ 888	▲ 657	231
繰延ヘッジ損益	▲ 77	▲ 9	67
為替換算調整勘定	548	337	▲ 211
持分法適用会社に対する持分相当額	▲ 12	6	18
四半期包括利益	648	241	▲ 406
（内訳）			
親会社株主に係る四半期包括利益	447	▲ 1	▲ 448
少数株主に係る四半期包括利益	200	242	41

宝HLD連結_B/S概要：資産

（2013年3月期 第2Q末）

（単位：億円）	12/03末	12/09末	増減	主な増減理由
流動資産	1,260	1,279	18	
現金及び預金	308	324	15	TH ＋22.1　TS ▲ 5.8　TB ＋2.6
受取手形及び売掛金	507	504	▲ 2	TS ＋12.6　TB ▲ 14.0
有価証券	156	136	▲ 20	TH ＋10.0　TS ▲ 30.1
たな卸資産	244	261	16	TS ＋16.3
その他	43	52	8	
固定資産	713	693	▲ 20	
有形固定資産	419	421	1	当期の有形・無形固定資産の増減内訳
無形固定資産	52	51	▲ 1	新規取得 ＋22.5 （TS ＋12.2 TB ＋7.6 ）
のれん	35	34	▲ 0	減価償却 ▲ 20.5 （TS ▲ 14.4 TB ▲ 5.3 ）
その他	17	16	▲ 0	その他増減 ▲ 1.4
投資その他資産	241	220	▲ 20	
投資有価証券	184	164	▲ 20	TH ▲ 19.7 （評価減 ▲ 10.1 時価評価差額 ▲ 9.6 ）
その他	56	56	▲ 0	
資産合計	1,974	1,972	▲ 1	

宝HLD連結_B/S概要：負債・純資産

（2013年3月期 第2Q末）

（単位：億円）	12/03末	12/09末	増減	主な増減理由
流動負債	512	499	▲ 12	
支払手形及び買掛金	139	125	▲ 14	TS ▲ 3.7 TB ▲ 5.8
借入金・社債	100	98	▲ 2	第6回普通社債（2013年5月償還予定） +50.0 第8回普通社債（2012年9月償還） ▲ 50.0
その他	272	276	3	
固定負債	385	429	43	
借入金・社債	204	254	49	第6回普通社債（2013年5月償還予定） ▲ 50.0 第12・13回普通社債（2012年4月発行） +100.0
その他	180	174	▲ 6	
負債合計	897	928	30	
株主資本合計	975	944	▲ 30	
資本金・資本剰余金	164	164	ー	
利益剰余金	880	865	▲ 14	配当金の支払（1株当たり9円） ▲ 18.5
自己株式	▲ 69	▲ 84	▲ 15	自己株式取得（2,800,000株） ▲ 15.6
その他包括利益累計額	▲ 27	▲ 31	▲ 4	
少数株主持分	128	130	2	
純資産合計	1,076	1,044	▲ 32	

宝HLD連結_CF概要

（2013年3月期 第2Q累計）

（単位：億円）	12/03期 2Q累計実績	13/03期 2Q累計実績	増減
営業キャッシュ・フロー	8	13	5
税金等調整前四半期純利益	22	16	▲ 6
減価償却費	21	20	▲ 0
売上債権の増減額（▲：増加）	▲ 18	2	21
たな卸資産の増減額（▲：増加）	▲ 2	▲ 11	▲ 9
仕入債務の増減額（▲：減少）	2	▲ 16	▲ 18
法人税等の支払額	▲ 13	▲ 24	▲ 10
その他	▲ 4	26	30
投資キャッシュ・フロー	▲ 44	▲ 25	19
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 30	▲ 30	0
有形固定資産の売却による収入	4	2	▲ 2
その他	▲ 19	2	21
財務キャッシュ・フロー	▲ 20	11	31
社債の発行及び長期借入による収入	0	99	99
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	▲ 0	▲ 50	▲ 50
自己株式の取得による支出	▲ 0	▲ 15	▲ 15
配当金の支払額	▲ 17	▲ 18	▲ 0
その他	▲ 2	▲ 3	▲ 1
現金及び現金同等物増減	▲ 57	▲ 0	56
現金及び現金同等物期首残高	283	291	7
現金及び現金同等物期末残高	226	291	64

為替前提（子会社P/L換算レート）

2Q累計 （単位：円）	12/03期 (11年1月-6月)	13/03期 (12年1月-6月)			
	実績	期初予想	実績	前期差	期初予想差
ドル	82.02	75.00	**79.78**	▲ 2.24	+ 4.78
ポンド	132.58	115.00	**125.79**	▲ 6.79	+ 10.79
ユーロ	115.05	100.00	**103.49**	▲ 11.56	+ 3.49
元	12.53	12.00	**12.64**	+ 0.11	+ 0.64
100ウォン	7.45	6.70	**6.99**	▲ 0.46	+ 0.29
インドルピー	1.81	1.60	**1.54**	▲ 0.27	▲ 0.06

通期 （単位：円）	12/03期 (11年1月-12月)	13/03期 (12年1月-12月)			
	実績	期初予想	修正予想	前期差	期初予想差
ドル	79.79	75.00	**78.80**	▲ 0.99	+ 3.80
ポンド	128.01	115.00	**125.20**	▲ 2.81	+ 10.20
ユーロ	111.11	100.00	**101.00**	▲ 10.11	+ 1.00
元	12.35	12.00	**12.50**	+ 0.15	+ 0.50
100ウォン	7.21	6.70	**6.90**	▲ 0.31	+ 0.20
インドルピー	1.67	1.60	**1.50**	▲ 0.17	▲ 0.10

※12/03期のインドルピーはタカラバイオDSSインド設立後、2011年5月6日以降の平均レート

株主還元方針

TaKaRaグループ中期経営計画2013（2011.04~2014.03）の財務方針

財務方針　健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、積極的な株主還元を実施し、ROE（自己資本利益率）の向上を目指す。

◆健全な財務体質の維持

- 格付「シングルA」の維持

◆成長・育成事業への投資

- 成長事業と育成事業に対して優先的に投資

◆積極的な株主還元

- 配当と自己株式取得を合わせ株主還元性向50%以上を実施

健全な財務体質の維持

成長・育成事業への投資
積極的な株主還元

→ ROEの向上

$$\text{株主還元性向} = \frac{\text{株主還元総額（配当総額＋自己株式取得総額）}}{\text{みなし連結当期純利益*}} \geqq 50\%$$

*みなし連結当期純利益＝（連結経常利益－受取利息・配当金＋支払利息）×（1－法定実効税率）

利益成長と自己資本のコントロールにより、ROEの向上を目指す

資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ＞
宝ホールディングス株式会社　財務・IR部
Tel. 075-241-5124
E-Mail　ir@takara.co.jp